

1 令和3年度浜松市教育研究会基本テーマ

「愛情と情熱をもって学び続け 子供たちの道しるべになろう」

2 令和3年度学校保健研究部テーマ

「すこやかな心と体 命を大切にできる子の育成」

浜松市学校保健研究部は研究テーマを「すこやかな心と体 大切な命」として平成24年度から令和元年度までの8年間研究を積み重ねてきた。昨年度から市教研の基本テーマを受けて、研究テーマを「すこやかな心と体 命を大切にできる子の育成」とし、教師に視点を当てたテーマとした。学校保健研究部は、地域の実態に合わせて部会ごとに研修テーマを設け、小中連携した研究実践を重ねてきた。日々の保健活動、保健教育、学校保健週間行事等において、児童生徒の健康を保持増進するために重要な基本的生活習慣の定着、自己肯定感やコミュニケーション能力の向上、危機管理能力の育成等、幅広い視点から工夫した取組を行ってきた。昨年度は第3回研修会で6部会がその成果を発表した。しかし、心身の健康問題の複雑化、生活習慣の乱れ、問題行動の多様化、減少しないいじめや不登校等、現代に生きる子供たちを取り巻く環境は改善されたとは言えない。

そこで、第3次浜松市教育総合計画「はままつ人づくり未来プラン」における「はままつの人づくり」の重点にも記されているように、これからの社会を生き抜くための資質や能力を育むために欠かせない「すこやかな心と体」を目指した研究実践をさらに充実したものとしていきたい。また、学校現場が直面している新型コロナウイルスへの感染症対策についても、研修を進めていきたい。自分らしさを大切にしながらも、他人を思いやり、自他の命の大切さに目を向けた研究実践を深めていきたい。そうすることが、本当の意味での「心身共にすこやかな子供の育ち」につながると考える。